

— 敬老祝金支給方法についてアンケートを求める陳情書 —

旧3町合併後、節目支給が行われている現在の支給方法を合併以前の70歳からの全員支給を求めることを、市民の皆様にはアンケート調査を行うよう陳情書が出されました。(提出者 川畑一徳氏 他6名)

(陳情内容)

- ・曾於市は敬老祝金の支給方法について「高齢者は全員支給を望んでいるか、また節目支給を望んでいるか」アンケートを行うこと。
- ・曾於市はアンケートの調査結果を尊重すること。

※節目支給とは

喜寿や米寿などの歳に祝金を支給すること。曾於市では、70歳、77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳以上に支給されている。

**賛成少数
不採択**

☆付託をされた文教厚生委員会では

市長より平成21年度中に支給年齢の間隔を見直すことは検討するが、全員支給は考えていないとの説明を受け審査し、賛成少数で不採択となりました。

☆本会議での討論・採決は

賛成
3

- 全員支給に対する1万人以上の賛成署名を集めて、市長に提出している。
- 議会で全員支給を決定すれば、それに従うとの答弁あり。
- 現在の予算の範囲内で、3千円近くを全員支給できる。
- 他市町の支給方法を討論の柱に据えるべきではない。
- 合併協議会で決まったことが、全て正しいこととは言えない。

反対
20

- 平成16年10月の合併協議会で合意認証されている。
- 節目支給で本会議に上程、可決。議会の議決事項として遵守すべきである。
- 県内市のほとんどが、80歳以上の節目支給であり、本市だけが70歳以上で節目支給をしている。
- 合併と同時に節目支給として実施され、定着していると考えられる。

県内市の支給状況(平成20年9月現在)

年齢	鹿児島市	鹿屋市	枕崎市	阿久根市	出水市	大口市	指宿市	西之表市	垂水市	川内市	薩摩市	日置市	霧島市	串木野市	南さつま市	志布志市	奄美市 (名瀬地区)(笠利・住用)		南九州市	曾於市	
	70																				○
71																					
76																					
77																					○
78																					
79																					
80		○	○	○			○		○				○	○		○		○	○		○
81																					○
82																					
83																					
84																					
85																					
86																					
87			○																		
88	○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○		○
89																					
90			○		○		○							○		○	○	○	○		○
91																					
92																					
93																					
94																					
95					○		○						○	○		○	○	○	○		
96																					
97																					
98			○																		
99		○					○		○		○					○		○	○		○
100	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
101	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○